

全学徒戦没者追悼・平和祈念祭で、献花する元学徒兵ら
11月18日午後、那覇市



鎮魂を願った。

元学徒兵ら約70人が集まり、

23日の「慰霊の日」を前に、

首里高の寮跡地で営まれた。

市の旧制県立第一中（現県立

悼・平和祈念祭が18日、那覇

声に耳を傾け、恒久平和を祈

念する」と悼んだ。

会は、自民党の西田昌司参

院議員が「ひめゆりの塔」に

関する展示説明を「歴史の書

き換え」とした発言に対し「軍

と訴えていた。悲痛な声なき

で、いま一度父母に会いたい

面した亡き学友は、遺書の中

亡くなった約2千人の学徒た

ちを追悼する全学徒戦没者追

太平洋戦争末期の沖縄戦で

戦後80年

沖縄戦の学徒2000人追悼

那覇 平和と鎮魂願う

対だった」と話した。

国策で命を失った。上官の命

令は朕（天皇）の命令で、絶

3年で卒業直前に徴兵された

渡口彦信さん(98)は「学友が

皇隊の与座章健さん(96)は、

取材に「何であんなばかな戦

争をしたのか。二度とやって

はいけない」と語気を強めた。

沖縄戦当時、県立農林学校

宣言を読み上げた元鉄血動

る「平和宣言」を発表した。

して「歴史的暴言」と批判す

学徒として容認できない」と

国教育の恐ろしさを体感した

むずかしい漢字とことば

亡(な)くなる 追

悼(ついとう)＝死んだ人を悼(いた)み、悲しむこと
那覇(な・は) 寮(りょう) 跡地(あと・ち)
慰霊(い・れい)＝死んだ人の霊を慰(なぐさ)めること
鎮魂(ちん・こん)＝死んだ人の魂(たましい)を鎮(しず)め、なぐさめること
主催(しゅ・さい)＝催(もよお)しを行うこと
遺書(い・しょ)＝死ぬ前に家族や親しい人へ残したメッセージ
訴(うった)え 悲痛(ひ・つう)＝心が痛み悲しいこと
傾(かたむ)け 恒久(こう・きゅう)＝いつまでも変わらないこと
祈念(き・ねん)＝願い事を祈(いの)り念(ね)じること
塔(とう) 展示(てん・じ) 換(か)え 恐(おそ)ろしい 容認(よう・にん)＝受け入れ認(みと)めること
批判(ひ・はん) 宣言(せん・げん) 勤皇(きん・のう) 徴兵(ちょう・へい)＝国民の義務として兵役につくこと
国策＝国の決めた政策 朕(ちん)